

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(令和6年度分)

施設名 出雲かんべの里
 指定管理者 特定非営利活動法人八雲総合サービス協会
 担当課 生涯学習課
 指定期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日

1. 総合評価

市	S	【優れていると評価した点】 利用者数が工芸館民話館とも前年実績を上回る結果となった。また、計画実施にあたり、内容により専門家や有識者を配置し利用者の好評を得た。 【評価できない、または改善すべき点】 民話館の活用について、前年度実績を上回る利用があったが、イベント内容を検討し、さらに利用者を増やす工夫が必要である。
---	---	--

指定 管理 者	A	【優れていると評価した点】 本施設の設置の趣旨を踏まえ、入居する工芸作家及び民話館の語り部とも連携しながら、工芸文化の維持・伝承、民話の普及に努めている。 【評価できない、または改善すべき点】 工芸館と民話館で来館者数に大きな差があるため、工芸館だけではなく、民話館にも立ち寄ってもらえるような工夫が必要である。
---------------	---	--

2. 施設利用の増減について

年間の施設利用者数は、前年度比194.6%の120,381人となり、指定管理者が設定した目標人数を達成した。今年度から工芸館入口に設置したカウンターにより工芸館入込数を集計しているため、利用者数が大幅に増加している。

施設の設置目的に沿ったイベントを企画・実施し、利用者の増加に繋がったことについて評価できる。

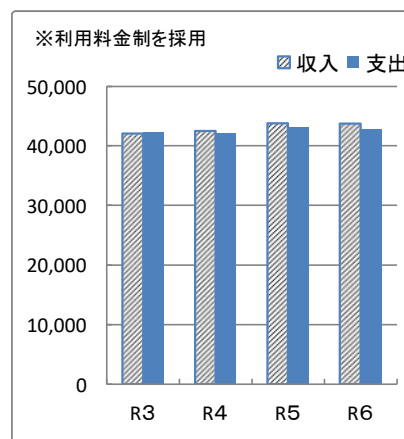
(1) 収支状況の推移（自主事業を除く）

(千円)

項目\年度		R3	R4	R5	R6
施設の 収 支	収入	42,073	42,519	43,808	43,719
	うち指定管 理料	40,538	40,641	41,881	41,911
	うち 利用料	1,535	1,878	1,927	1,808
	支出	42,309	42,108	43,116	42,772
	差引	△ 236	411	692	947

上記以外の市の収入、支出

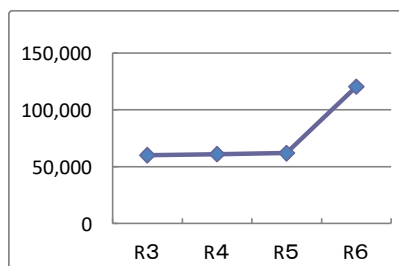
市の 収 支	収入(使用料)	58	78	170	104
	支出	32,563	4,212	41,881	42,474
	うち市の修 繕費	1,582	1,693	0	500



(2) 利用者の推移

(人)

R3	R4	R5	R6
60,003	61,052	61,832	120,381



【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値

B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値

C 実績値 : 実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する 達成度 C/B	基準に対する 達成度 C/A
アウトプット	①施設の利用人数 (人)	55,871	62,832	120,381	191.6%	215.5%
	②モニタリングにおける 顧客満足度(%)	70	70	97.9	139.9%	139.9%
	③工芸作家、民話館 「とんとお話し会」との連 携によるものづくり体験 教室や民話の伝承	企画・実施	企画・実施	企画・実施	—	—
	④新緑祭り(5月実施) (人)	2,500	3,000	3,776	125.9%	151.0%
	⑤夏祭り(7月実施) (人)	2,500	3,000	3,797	—	—
アウトカム	モニタリング調査におけ る下記質問事項の肯定 的割合(%) ・出雲地方の歴史や文 化について関心が高 まった。 ・学習の成果を活用し たいと思う。 ・生涯にわたって学習し たいと思う意欲がある。	70	70	94.5		
				達成度 平均	152.4%	168.8%
達成度 に対する 意見	指定管理者			市		
	施設規模に見合った小規模イベントの実施を積極的 におこなった。例年行っている内容に加えて、NHK の朝の連続ドラマ「ばけげ」にちなんで、「世界とつ ながる語りと秋茶会」、小泉八雲の怪談を中心とした 語りイベント、森をフィールドに取り組む団体との協 働イベントなど多岐にわたり取り組んだ。次年度は、 指定管理期間満了となるので、次の管理者への引 継ぎを念頭にさらなる施設の存在価値向上を目指 し、より発信力を強化するとともに環境整備に取り組 んでいく。			新しいイベント、季節感のあるイベント、地元 工芸作家との連携による「丘のクラフト展」など 特色のあるイベントを多く開催し、利用促進を 図ったことにより目標値を達成することができ た。		

(3) 利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
164	回答件数164件 回答項目内訳 全2項目中 ①満足している 280件(85.4%) ②どちらともいえない・未回答 42件(12.8%) ③満足していない 6件(1.8%)	①良い ・親子で楽しめてよかったです。 ・たくさんの文化をしくてよかったです。 ②苦情 ③要望 ・駐車場が少ない

(4) 住民サービス向上の事例

出雲かんべの里の日常管理、自主イベント等を行ったことで、歴史・文化を学ぶことのできる場の提供と市民文化の向上に寄与したと考える。

3. 自主事業

市の評価	開館30周年記念事業として、県内の語り部6団体を招いた「山陰の民話を語る会」を開催し、地域の民話文化の継承と発信に寄与した。 また、小泉八雲怪談出版120周年記念助成事業として選定された企画「夜の森で語る琵琶と八雲の世界」では、琵琶演奏と語り部による素語りを組み合わせた幻想的な演出により、八雲作品の魅力を表現した。多くの来館者を集めるとともに、民話館の魅力発信・PRにも大きく貢献した。
実施状況	予定していた自主事業を概ね実施できた。

4. 評価項目及びその評価

評価項目	指定管理者 評価	松江市 評価
利用者の意見を取り入れ管理運営を改善していたか	B	B
利用促進のための計画が練られていたか →利用者数の増減により評価	A	A
利用促進のための計画が練られていたか →自主事業の実施状況	A	A
広報活動	A	A
当初提出した収支計画に基づき、効率的な管理運営が図られたか	B	A
業務委託した場合、その委託の範囲は適切か	A	A
事業計画を実行するために適当な組織・人員配置が練られていたか	A	A
管理責任者は適切な人選がなされていたか、計画実行のための有資格者(経験者)が確保されていたか	A	A
利用者の安全対策(平常時・緊急時)についての研修等が十分に確保されていたか	A	A
個人情報の保護についての研修等が十分に確保されていたか	B	B
災害等に備えた計画(被害の拡大防止措置など)が検討され、利用者の安全が十分検討されていたか	A	A
緊急時の対応策が十分考えられており、緊急時の責任者や連絡体制が明確にされていたか	A	A
清掃業務	B	B
機械設備等の保守点検	A	B
草刈・植栽管理、外構等施設周辺の管理	A	A
松江市への報告	B	B
労働安全衛生	A	A
施設の巡視	A	A
職員のマナー(服装・電話・窓口)	A	A
備品の管理	A	A